

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成27年度 講義要目(シラバス)

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 科目名  | 生命科学先端演習                          |
| 英文名  | Advanced Practice on Life Science |
| 学部学科 | 先端科学技術研究科 物質生命理工学専攻               |
| 配当学年 | 1・2・3年次                           |
| 開講時期 | 通年                                |
| 単位数  | 4.0                               |
| 必選区分 | 選択                                |
| 担当者名 | 長原 礼宗                             |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 目的概要            | 生命理工学分野の研究を遂行する上で必要となる、研究計画の立案と遂行、またその結果得られたデータの取りまとめ、論文発表などの技法を身につけることを目的とする。自らが課題立案して遂行し、成果を対外的に発表できる人材の育成が目標である。   |
| 教科書名            | とくに定めない。学生が自ら検索して取得するようにするが、必要に応じて資料を配付する。  |
| 参考書名            | とくに定めない。学生が自ら検索して取得するようにするが、必要に応じて資料を配付する。  |
| 評価方法            | 自身で実験を行い、それをいかにまとめて他人にわかりやすくレポートにより報告することができるかを評価する。また結果をまとめたプレゼンテーション能力についても評価を行う。関連研究分野の学術論文について探索して、自身の研究との相違点、そこから得られる新たな知見、アイデアを発表できるかについても評価する。   |
| テーマ・内容          | 当該分野の研究に関連する学術論文、主としてJ Biol Chem, J Immunolなどを題材として、研究内容の紹介と討議を行う。自身の研究に対してその内容をどのようにフィードバックするかを考え、実践を試みる。実践した成果を最終的にまとめあげる。主に以下の内容から構成される。<br><br>(1)自身の実験計画立案のための課題探索とそのプレゼンテーション<br>(2)実験実施<br>(3)実験結果の整理<br>(4)実験結果分析および評価<br>(5)実験レポート作成とプレゼンテーション |
| E-Mail address  | <a href="mailto:yuki@mail.dendai.ac.jp">yuki@mail.dendai.ac.jp</a>  |
| 履修上の注意事項・学習上の助言 | 特になし  |